

GIGAスクール環境を生かした学校づくり

北海道上磯高等学校

(取組のポイント)

GIGAスクール構想の前倒しにより、ICT機器の導入やクラウドサービスの活用が推進され、校務でのDXが可能になり、業務削減による働き方改革推進を図るだけでなく、Society5.0に求められる情報活用能力を育成するため、授業でのICT活用の充実を目指した取組

取組に当たっての課題意識

- クラウドサービスやICT機器の活用に関する知識・技能の共有
- 授業のICT化による効果と課題の検証

具体の取組例	事業との関連等
<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内組織による共有 <ul style="list-style-type: none"> ・GoogleアカウントやICT機器の管理を校内情報委員会で共有（各学年にICT担当教員を配置） ○ 校内研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・授業における生徒・教員のログイン方法 ・Google Classroom・Meetの活用方法 ・オンライン授業の実施方法 ・Google Forms、スプレッドシートを活用した健康観察チェックシートの活用方法 ・Zoomのホストでの管理方法（教育相談研究会の主催） 	<ul style="list-style-type: none"> ・道立教育研究所による支援 タブレット端末を活用した授業及び研修会を実施
<ul style="list-style-type: none"> ○ 公開授業（渡島・檜山管内） <ul style="list-style-type: none"> ・研究協議会 ・ICTを活用した授業実践 別教室の授業を同時展開しクラウド上で意見交流 ・スライドを協働編集 ・Google Classroomの活用・管理法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育推進課による助言 テーマ 「ICTの効果的な活用」

課題解決に向けたプロセス

取組の成果

- 健康観察やオンライン授業など、コロナ禍における校務のDXを確立した。
- 複数教科でClassroomやJamboardを授業で活用できるようになった。